㈱2．非上場株式（貸借対照表計上額6,718千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「⑴投資有価証券及び有価証券」には含めていない。

（追加情報）

「「金融商品に関する会計基準」及び「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準」の適用について」（文部科学省高等教育局国立大学法人支援課　事務連絡　平成22年４月27日）に留意し、当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号　平成20年３月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号　平成20年３月10日）を適用している。

（損益計算書注記）

１．当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	1,483,619千円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	1,032,053千円
当期総利益に与える影響額（差引き）	451,566千円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重に計上になっていることによるもの

法人化時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　2,222千円

451,566千円

（キャッシュ・フロー計算書注記）

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	7,848,858千円
うち定期預金（控除）	700,000千円
資金期末残高	7,148,858千円

２．重要な非資金取引の内容

⑴現物寄附による固定資産の取得	
工具器具備品	287,327千円
その他	48,963千円
⑵現物寄附による少額備品、消耗品の取得	68,981千円
⑶ファイナンスリースによる資産の取得	1,522,283千円

（重要な債務負担行為）

該当事項はない。

（重要な後発事象）

該当事項はない。

財務諸表は、千円未満を四捨五入して表示している。ただし、利益の処分に関する書類（案）は、円単位で表示している。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	22,777,310	3,011,457	7,350	25,781,417	8,678,332	1,455,595	12,290	—	—	17,090,795	
	構築物	1,514,596	157,324	0	1,671,920	870,300	105,253	—	—	—	801,620	
	機械装置	2,224	74,760	—	76,984	1,817	1,335	—	—	—	75,167	
	工具器具備品	947,755	881,641	472	1,828,924	727,590	92,572	—	—	—	1,101,335	
	図書	796	2,276	—	3,071	—	—	—	—	—	3,071	
	船舶	10,380	—	—	10,380	7,613	517	—	—	—	2,767	
	車両運搬具	1,145	3,921	—	5,066	591	543	—	—	—	4,475	
	計	25,254,205	4,131,379	7,822	29,377,762	10,286,242	1,655,815	12,290	—	—	19,079,230	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	11,488,685	2,589,827	611	14,077,901	5,093,276	790,216	77,283	—	—	8,907,343	
	構築物	178,202	147,936	—	326,138	42,702	15,324	—	—	—	283,436	
	機械装置	53,076	—	—	53,076	35,299	10,448	—	—	—	17,778	
	工具器具備品	12,376,244	5,561,559	448,954	17,488,849	9,095,891	1,913,181	—	—	—	8,392,957	